

お知らせ

豊橋市自然史博物館

開館10周年記念第13回特別企画展

「地底たんけん—大地と地震のなぞをさぐれ—」

この特別企画展では、大地の動きや地震のメカニズムを中心に、わかりやすく紹介します。展示は、日本を横切る大断層の中央構造線が活動しはじめた恐竜時代へタイムスリップし、恐竜の世界を体験することから始まります。恐竜時代の日本はどんな様子だったのか、中央構造線はどのように動いたのか、関係の深い化石や岩石の標本も紹介しながら、大地の動きやそのしくみを解説していきます。

兵庫県南部地震を引き起こした野島断層のはざとり標本や郷土の大地のしくみを知る手がかりとなる岩石・化石などの標本を多数展示するほか、東海地震に関する最新の情報や地震対策をしたモデルルームなども紹介します。

期 間：1998年7月17日(金)～9月15日(火)

午前9時～午後4時30分

休館日：毎週月曜日、7/20は開館、7/21は休館

入場料：大人300円、小・中学生100円

交 通：JR豊橋駅より豊鉄バス約20分「のんほいパーク前」下車、またはJR二川駅から徒歩約20分(タクシー約5分)

記念講演会

「地震に強くなろう—活断層と東海地震をさぐる—」

日時：1998年7月26日(日) 13:00～15:30

会場：豊橋市自然史博物館講堂

定員：100名(先着申し込み順、無料)

内容：「愛知県とその周辺の活断層」

講師：京都大学教授 岡田 篤正氏

「東海地震と防災」

講師：文教大学教授 NHK解説委員

伊藤 和明氏

申し込み・問い合わせ：豊橋市自然史博物館

〒441-3147 愛知県豊橋市大岩町字大穴1-238

TEL. 0532-41-4747



写真 鳳来町向林の中央構造線の断層露頭。

仙台市科学館

生命史20億年—化石でさぐるヒトまでの進化—

生命の誕生から人類発生まで、生物は様々な進化してきた。その様子を主として豊橋市自然史博物館所有の化石を見ながらたどり、進化についての理解を深める。あわせて東北地方から産する動物化石についても展示し、化石の宝庫としての東北地方を紹介する。

人類までの動物の進化の節目はおおよそ7つに分けられる。その節目ごとにコーナーを設け、人類につながる進化を理解しやすくする。7つのコーナーのほか、独自のコーナーとして東北地方の化石のコーナーも設け、東北地方から産する特徴的な化石(写真)も展示する。

期 間：1998年7月19日(日)～8月25日(火)

休館日：7/21, 27. 8/3, 10, 17, 24

入場料：大人700円 高校生500円 小中学生300円

交 通：市営地下鉄「旭ヶ丘駅」より徒歩5分

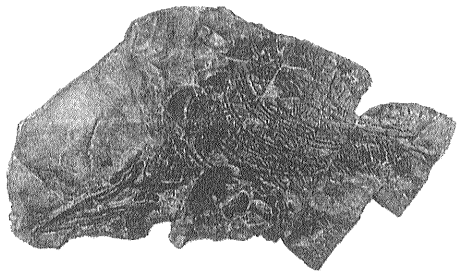


写真 *Utatusaurus hatayii* (ウタツギョリュウ) 標本のレプリカ。宮城県歌津町産。東北大学所有。

問い合わせ：仙台市科学館 〒981-0903

宮城県仙台市青葉区台原森林公園4番1号

TEL. 022-276-2201 FAX. 022-276-2204

URL. <http://www.smus.city.sendai.jp>